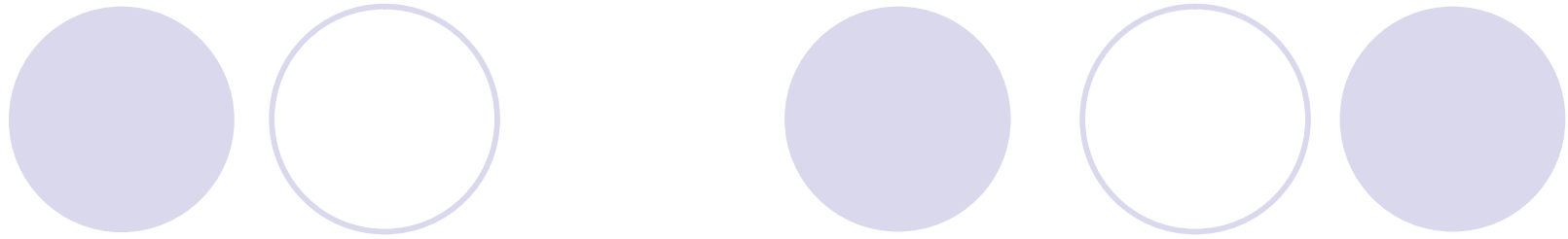




知的障害児・者の地域生活移行支援に関する研究
-地方自治体による『地域生活体験(モデル)事業』を中心に-

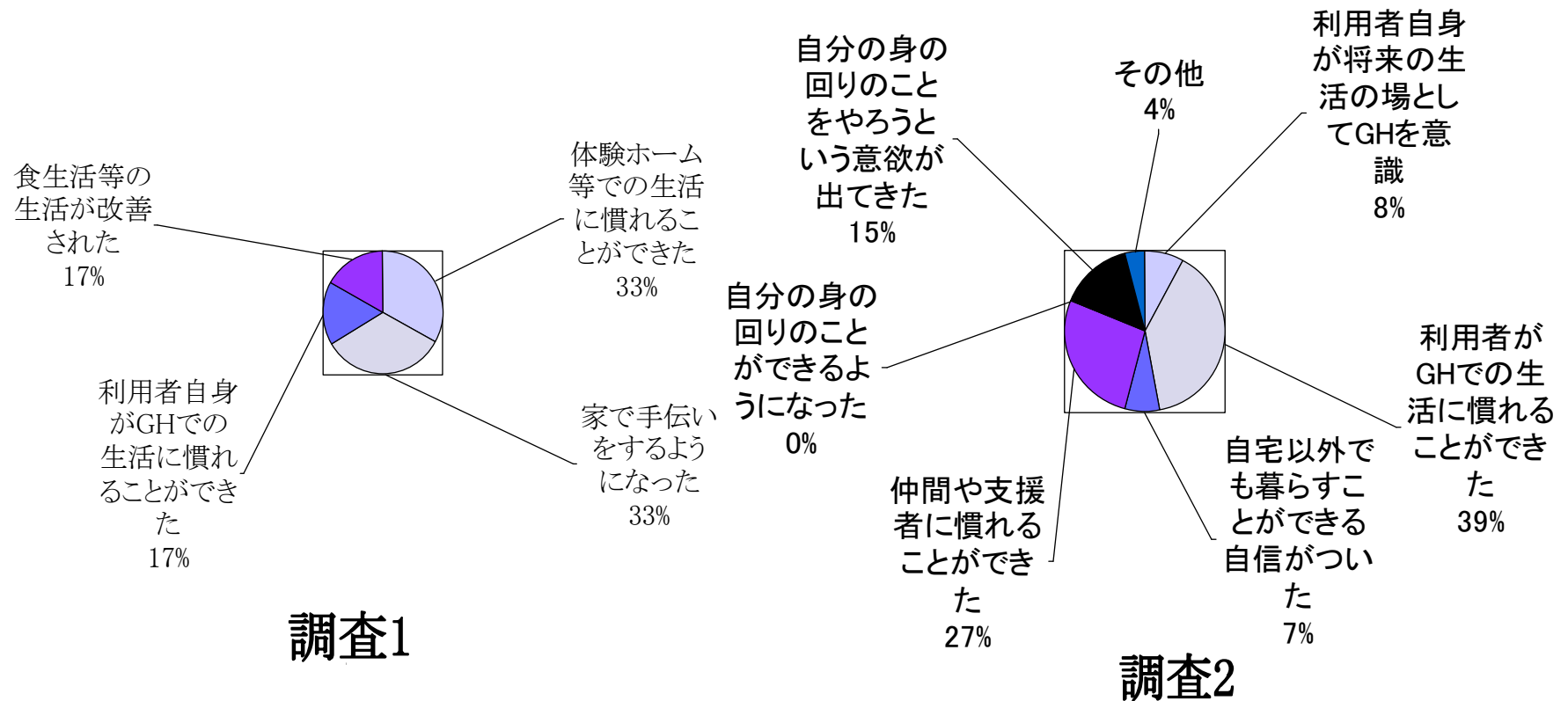
養護学校教育専攻 C02-3102 伊藤みどり
指導教員： 加瀬 進



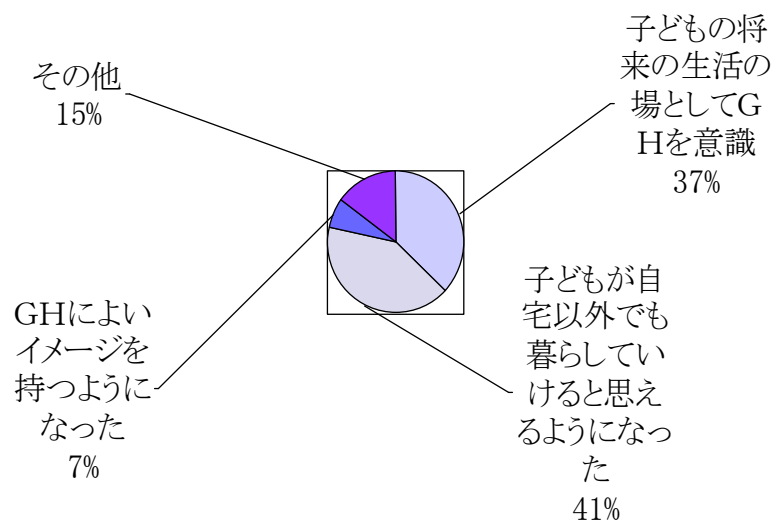
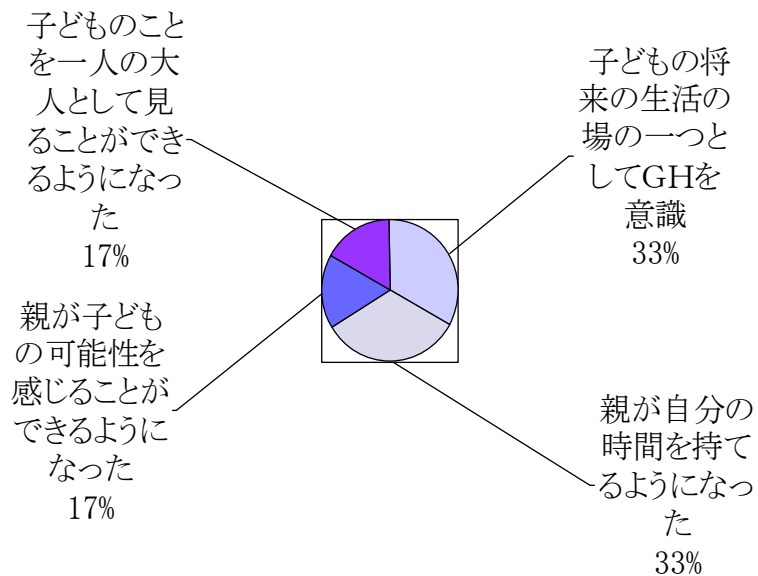
目的

- 地方自治体や法人で行われている『地域生活体験(モデル)事業』について、職員のとらえるこの事業の成果と課題を考察する。

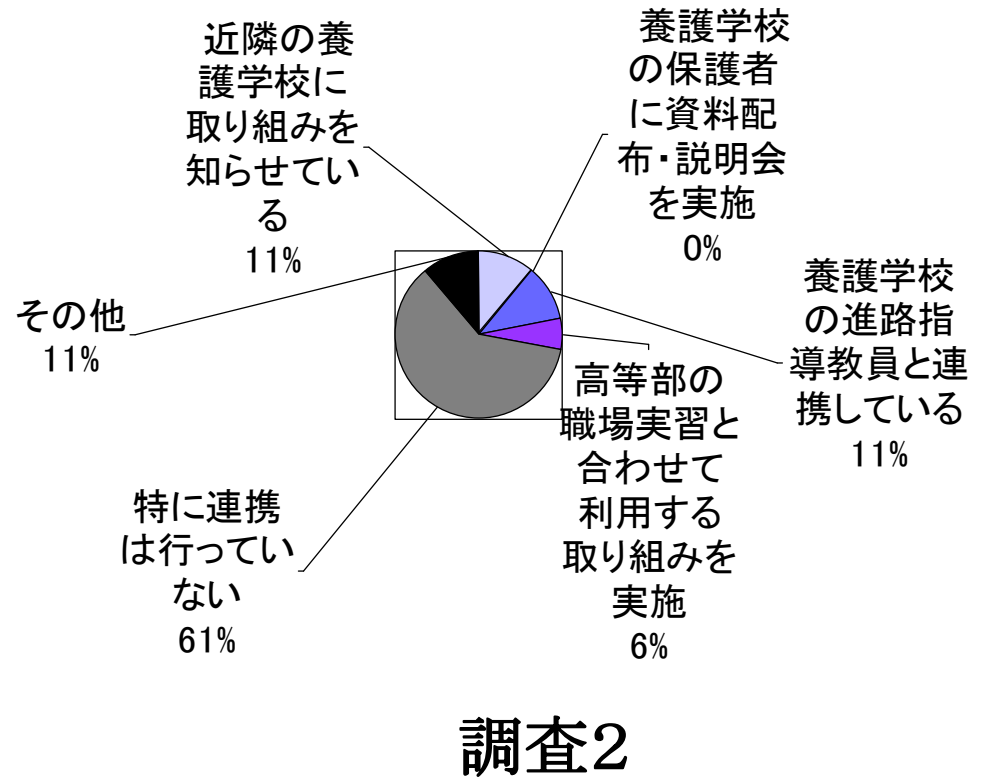
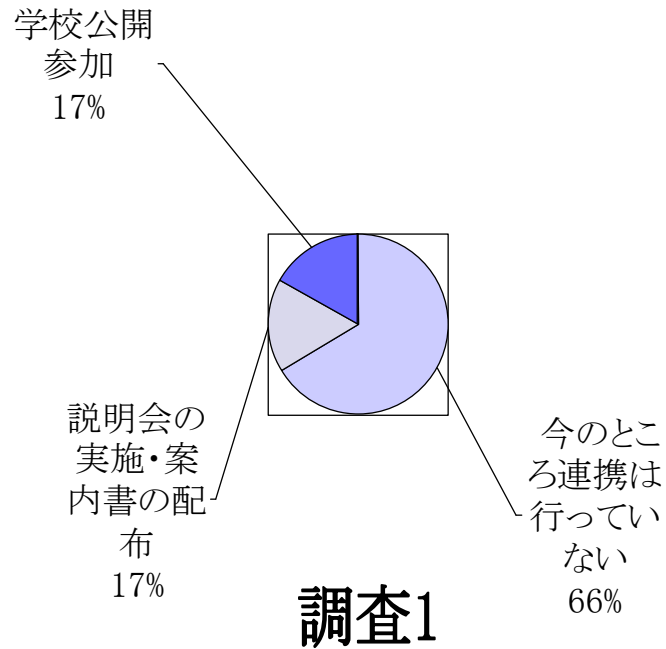
結果-1. 体験宿泊を通して利用者に見られた変化



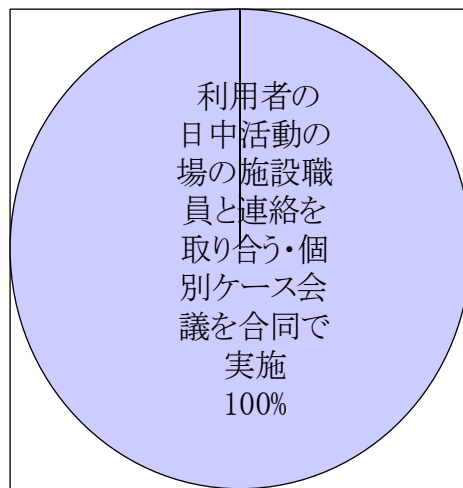
結果- 2. 体験宿泊を通して利用者家族にみられた変化



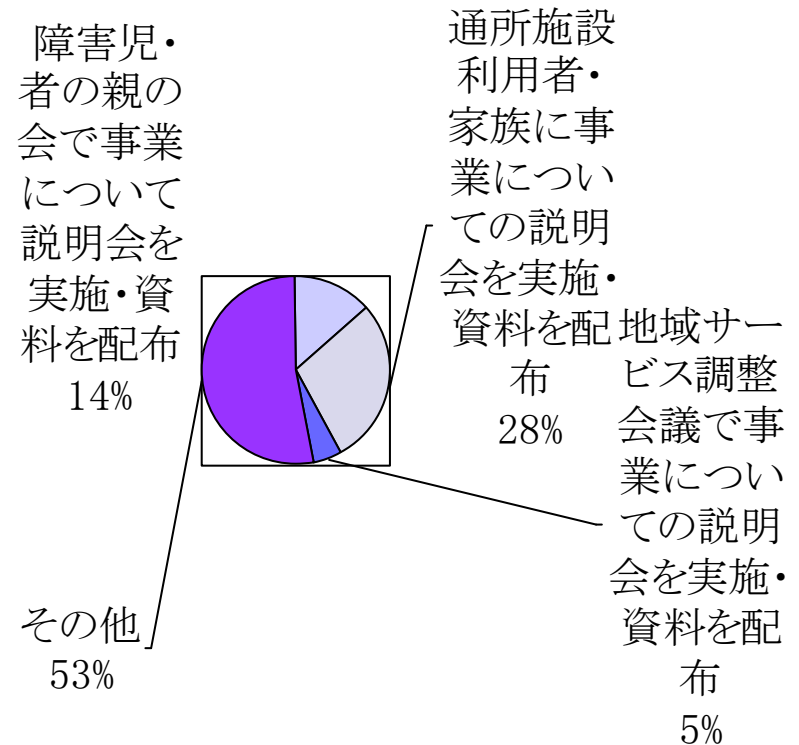
結果- 3. 養護学校との連携



結果- 4. 福祉施設との連携

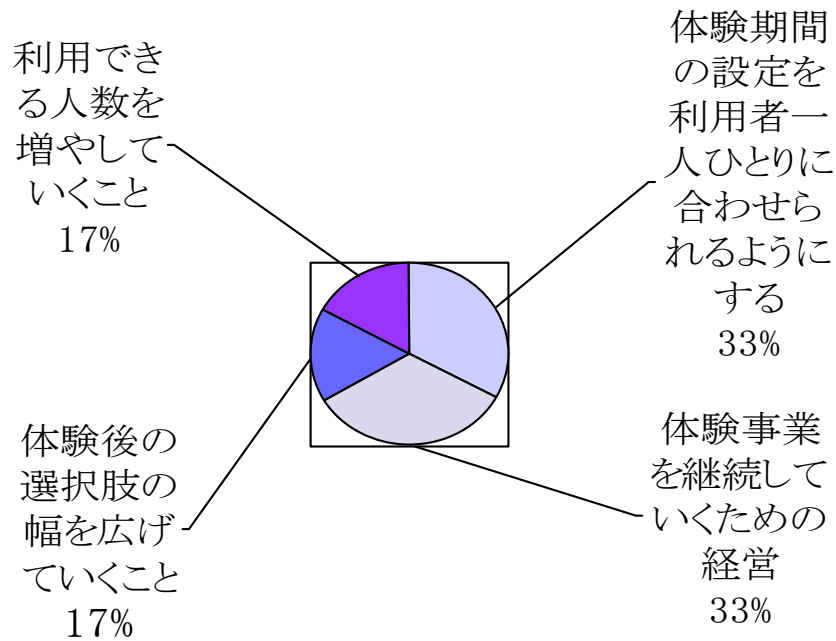


調査1

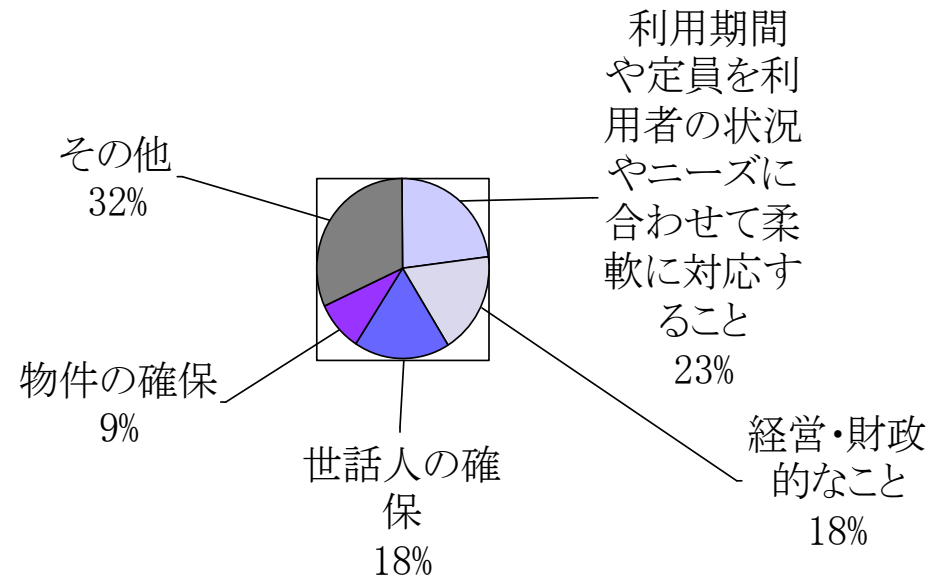


調査2

結果- 5. 今後の課題



調査1



調査2

考察1. 『地域生活体験(モデル)事業』の成果

(1)利用者にとっての『地域生活体験(モデル)事業』の意味

- 自宅以外で生活すること・家族以外の支援者や友人と生活することを経験し、そのことに慣れていく。
⇒ 親離れへの一歩近づいていくことができる
- 「体験ホーム」で自分の身の回りのことを世話人と一緒にやってみるといった経験をする。
⇒ 「体験ホーム」以外でも自分でやろうという意欲がわいてくる

自宅以外で生活すること・家族以外の人と生活する経験を重ねることで自活能力や自立意欲を高め、地域生活の移行へとつなげていくことができる。